

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 20 年 4 月 24 日 (2008.4.24)

【公開番号】特開 2006-294318 (P2006-294318A)

【公開日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報 2006-042

【出願番号】特願 2005-110562 (P2005-110562)

【国際特許分類】

H 0 1 J 31/12 (2006.01)

H 0 1 J 29/87 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 31/12 C

H 0 1 J 29/87

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 3 月 11 日 (2008.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の電子放出領域が設けられたカソードパネルと、蛍光体層及びアノード電極が設けられたアノードパネルとが、それらの周縁部で接合されて成る平面型表示装置であって、平面型表示装置の表示領域に対応するカソードパネルの有効領域には、前記電子放出領域が、X 軸方向 - Y 軸方向の 2 次元マトリックス状に配列されており、

平面型表示装置の表示領域におけるカソードパネルとアノードパネルとの間には、複数の板状のスペーサが、X 軸方向をスペーサの長手方向とし、スペーサの長手方向と直交する Y 軸方向に間隔を開けて、配置されており、

カソードパネルの有効領域における X 軸方向に沿う端部と、該端部に隣接するスペーサとの間に、X 軸方向に沿って配列されている電子放出領域の列の数を  $N_o$  とし、隣接するスペーサ間に、X 軸方向に沿って配列されている電子放出領域の列の数を  $N_i$  とするとき、 $N_o$  と  $N_i$  が等しい平面型表示装置。

【請求項 2】

平面型表示装置の表示領域以外の領域におけるカソードパネルとアノードパネルとの間に、板状の第 2 のスペーサが配置されている請求項 1 に記載の平面型表示装置。

【請求項 3】

複数の電子放出領域が設けられたカソードパネルと、蛍光体層及びアノード電極が設けられたアノードパネルとが、それらの周縁部で接合されて成る平面型表示装置であって、平面型表示装置の表示領域に対応するカソードパネルの有効領域には、前記電子放出領域が、X 軸方向 - Y 軸方向の 2 次元マトリックス状に配列されており、

平面型表示装置の表示領域におけるカソードパネルとアノードパネルとの間には、複数の板状のスペーサが、X 軸方向をスペーサの長手方向とし、スペーサの長手方向と直交する Y 軸方向に間隔を開けて、配置されていると共に、カソードパネルの有効領域における X 軸方向に沿う端部に該板状のスペーサが配置されており、

全ての隣接するスペーサ間において、X 軸方向に沿って配列されている電子放出領域の列の数が等しい平面型表示装置。

【請求項 4】

平面型表示装置の表示領域以外の領域におけるカソードパネルとアノードパネルとの間に、板状の第２のスペーサが配置されている請求項３に記載の平面型表示装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００２】

現在主流の陰極線管（ＣＲＴ）に代わる画像表示装置として、平面型（フラットパネル形式）の表示装置が種々検討されている。このような平面型の表示装置として、液晶表示装置（ＬＣＤ）、エレクトロルミネッセンス表示装置（ＥＬＤ）、プラズマ表示装置（ＰＤＰ）を例示することができる。また、電子放出素子を組み込んだ平面型表示装置の開発も進められている。ここで、電子放出素子として、冷陰極電界電子放出素子、金属／絶縁膜／金属型素子（ＭＩＭ素子とも呼ばれる）、表面伝導型電子放出素子が知られており、これらの冷陰極電子源から構成された電子放出素子を組み込んだ平面型表示装置は、高解像度、高輝度のカラー表示、及び、低消費電力の観点から注目を集めている。